

# 恩納村中小企業者・小規模企業者・小企業者振興 行動計画

## 令和5年度 事業報告（実績）

恩納村商工観光課

令和7年2月27日 公表

評価 について	A1：目標達成済み。更なる向上のため、事業計画の見直しが必要（達成済み） A2：特段見直す点が認められず、事業の手法や方向性を現行のままで実施（現状維持） B：事業実施方法や執行方法の改善等によって、事業内容の一部を見直すべき（要改善） C1：事業内容が目的の達成手段として効果が薄い（抜本的な見直し） C2：事業内容が目的の達成手段として有効でない（目標の見直し）
------------	---

○評価様式の記入方法・見方

施策		基本施策がここに記載されます。	
行動計画	事業名称	基本施策に対する行動計画事業名が記載されます。	
	事業概要	上記事業の主な事業概要はここで説明されます。	
平成30年度	事業計画 <b>P</b>		事業実績 <b>D</b>
	行動計画に記載している 本事業の目標		左記事業計画に対する実績
	事業効果 <b>C</b>		事業を実施した効果が記載されます。
	担当課評価 <b>A</b>	評価理由・根拠	R3年度の対策・解決策
	<b>B</b>	この欄に：左記評価をした理由、またその原因等（解決できそうな原因とできそうもない原因の峻別）を記載します。（原因の可視化）	この欄に左記の理由・原因に対する対策や必要な態勢等を担当課として提案し、次年度以降に繋げる。
	A1：達成済み A2：現状維持 B：要改善 C1：抜本的な見直し C2：目標の見直し	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     担当課の本事業に対する評価です。評価基準は表紙に記載しています。                      「恩納村まち・ひと・しごと創生総合戦略」のPDCAサイクル(Plan(計画)                      →Do(実行)→Check(評価)→Action(改善))の評価方法に準じています。                 </div>	
令和元年度	事業計画		実施計画
	行動計画に記載している本事業の目標 または 見直し後の事業の目標		左記事業計画に対する事業の実施計画
委員評価	審議委員の評価・コメント・アドバイスを記入		

施 策		(1) 地域資源を活かした観光の振興と中小企業者等の経営力強化		
行動 計画	事業名称	ア 審議委員会		
	事業概要	●本村の経済を牽引する重要な役割を担う中小企業者・小規模企業者・小企業者振興について必要な事項を審議する。 (PDCA サイクルによる、計画、実行、確認、改善を継続して審議を行う)		
令和 5 年度	事業計画		事業実績	事業効果
	<ul style="list-style-type: none"> <li>年2回開催。</li> <li>5～6月…令和4年度実績報告・事業評価</li> <li>10～11月…今年度中間報告</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年7月14日(第1回) 委嘱状交付式・令和4年度実績報告</li> <li>令和6年3月4日(第2回) 令和5年度経過報告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>審議会開催は予定通り2回開催。</li> <li>令和4年度の評価を踏まえ、当年度事業のアドバイスをいただいた。</li> <li>当年度の計画を視野に入れ、事業を遂行することができた。</li> </ul>
	担当課評価	評価理由・根拠		R6年度の対策・解決策
	<b>A2</b> A1:達成済み A2:現状維持 B:要改善 C1:抜本的な見直し C2:目標の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>いずれも予定時期より遅れての開催となったもの、年度内に開催することができたため。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>予定の時期に開催できるように体制を整える。</li> <li>状況に応じては年3回の開催も可能とする。</li> </ul>
令和 6 年度	事業計画		実施計画	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>年2回開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>5～6月…前年度の実績報告・事業評価。</li> <li>2～3月…当該年度中間報告 ※10～11月開催はイベントが重なり、開催するのが厳しいため。例年、3月にずれ込んでいる。</li> </ul>	
委員評価	<b>A2</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業評価の実施計画を10～11月を2～3月へ変更で了承した。</li> </ul>		

施 策		(1) 地域資源を活かした観光の振興と中小企業者等の経営力強化	
行動 計画	事業名称	イ 地域における「人、もの、情報」の連携	
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「人・もの・情報」の共有を図り、新たな事業展開など地域活性化に結び付ける。</li> <li>●恩納村の優れた資源を活用した商品や、サービスなどを指すために連携する。</li> <li>●連携体制の整備を図るため、関係団体（村、中小企業者等、商工会、金融機関、教育機関、観光協会、村民）で情報を共有し強める。</li> </ul>	
令和 5 年度	事業計画		事業実績
	<p>・商工会や金融機関など関係団体と必要に応じて連携会議を開催する。</p>		<p>・燃油価格・物価高騰の影響に関する各団体意見交換会（R5.6.15）コロナ関係含めて通算8回目</p> <p>参集：商工会、観光協会、GM会、JA、漁業協同組合、マリンレジャー協会、沖縄銀行恩納支店</p> <p>・村内事業者応援一時支援金事業実施（8月臨時議会補正予算）</p>
		事業効果	
		<p>・村内事業者応援一時支援金事業実施（8月臨時議会補正予算）</p> <p>受付期間：9月～10月  支援件数：277件（個人161件 中小法人等：116件）  1件あたり支援金額 個人10万円、中小法人等20万円 支援金額：39,300,000円  周知：広報おんな10月号掲載（予算可決が8月の為、9月広報には間に合わなかった）、QABデータ放送（9/7日～10/27日）LINE（8/31、9/14、10/2、10/16）、HP、沖縄タイムス掲載（10/12）</p> <p>アンケート結果（46件 個人事業者：34件 中小法人事業者：12件）  ・かなり役立った・・・61% ・役立った・・・28% ・多少役に立った・・・11%</p> <p>・物価高騰・人件費高騰による価格転嫁が難しい中、一時支援金にて経営力強化を図った。</p>	

		担当課評価	評価理由・根拠	R6 の対策・解決策
		<p><b>A2</b></p> <p>A1：達成済み A2：現状維持 B：要改善 C1：抜本的な見直し C2：目標の見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて調整会議を開催し、コロナ関連の事業者支援策を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関及び各団体と密な連携を継続していく。</li> <li>・いつでも連絡調整できる体制、関係を維持する。</li> <li>・定期的な開催の必要性を継続して検討する。</li> </ul>
令和 6 年度	事業計画	実施計画		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会や金融機関など関係団体を必要に応じて連携会議を開催する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて関係団体及び関係課と調整し、意見交換の場を設ける。</li> </ul>		
委員評価	<p><b>A2</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・優れた資源の活用と一時支援金がどう繋がったのか見えない。(審議会後、効果に赤字で追記)</li> <li>・経営力強化に繋がるようなセミナー・個別相談会等の開催を今後も継続してほしい。 (令和5年10月からのインボイス制度導入の際、セミナーを開催・個別相談会を実施し事業者の経営力向上に取り組んだ)</li> <li>・意見交換会は事業者の状況把握のためにも継続して行う方が良い。</li> </ul>			

施 策		(1) 地域資源を活かした観光の振興と中小企業者等の経営力強化		
行動 計画	事業名称	ウ 事業承継支援		
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●円滑に事業承継するために、必要な後継者対策等を行う。</li> <li>●沖縄県事業承継・引継ぎ支援センターを活用し、セミナー開催について事業所へ案内・事業承継に関する相談の実施。</li> </ul>		
令和 5 年度	事業計画	事業実績	事業効果	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県事業承継ネットワークを活用し、セミナー開催について事業所へ案内、事業承継に関する相談の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県事業承継・引継ぎ支援センター担当コーディネーターと連携し、事業承継相談7件</li> <li>・事業承継啓発月間（主催：沖縄総合事務局）や事業承継推進事業補助金（事業主体：沖縄県）の周知を行った。</li> <li>・事業承継計画策定支援1件</li> </ul> <p>【参考】エネルギー・食料品等の価格高騰対策「村内事業者応援一時支援金事業」アンケート結果</p> <p>物価高騰以外で現在抱えている課題(最大3つ) 事業承継と回答：6% ※アンケート回答率16.6% (46件/277件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業承継担当コーディネーターとの連携により、事業者からの相談要望に円滑に対応している。</li> <li>・事業承継関連の国や県の支援策が拡充していく中で、SNS等を通じ事業の周知が図られた。</li> <li>・事業計画策定支援により、事業承継のための具体的なスケジュールが可視化され、現代表と後継者間のイメージ共有化が促進された。</li> </ul>	
	担当課評価	評価理由・根拠	R6年度の対策・解決策	
<p style="color: red; font-size: 1.2em; margin: 0;">A2</p> <p style="font-size: 0.8em; margin: 5px 0 0 0;">A1：達成済み A2：現状維持 B：要改善 C1：抜本的な見直し C2：目標の見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門機関との連携により、事業承継支援ニーズの掘り起こしや、具体的な相談対応に繋がっている。また、各種支援策を周知し、事業者の積極的な施策活用を促進している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県事業承継ネットワークや沖縄公庫と連携し、支援策の周知拡大や、相談対応及び事業計画策定支援を実施する。</li> </ul>		

		事業計画	実施計画
令和 6 年度		<ul style="list-style-type: none"> <li>・円滑に事業承継するために、必要な後継者対策等を行う。</li> <li>・沖縄県事業承継・引継ぎ支援センターを活用し、セミナー開催について事業所へ案内・事業承継に関する相談の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種支援策の周知</li> <li>・相談対応及び事業計画策定支援の実施</li> <li>・60歳以上の代表者へ事業承継診断の実施</li> </ul>
委員評価		A2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後継者を育てるのに10年かかると言われているが、事業者には売上向上等の課題が山積しており、後継者を育てることにマインドが向かないことが難しい。いかにマインドを高めていくかが非常に重要。</li> <li>・若い世代のうちから相談が寄せられ、事業継承に対する意識が変わってきたと実感しているところもある。</li> <li>・事業者の経営目的によっては事業継承に対する意識が異なる。後継者をどう育てるかに意識を向かわせることがポイントとなる。</li> <li>・事業承継においては、現在ご活躍中の事業者の皆さんの人脈は非常に価値があるのでそれをどうやって活かすかがポイントとなる。</li> </ul>

施 策		(1) 地域資源を活かした観光の振興と中小企業者等の経営力強化
行動 計画	事業名称	エ 経営高度化支援
	事業概要	●DXの推進、データベースを活用した経営合理化、人的資源の高度化
令和 5 年度	事業計画	事業実績
	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営高度化促進を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄 IT イノベーション戦略センター (ISCO) と連携し、生産性向上に資するデジタルツール導入支援を 2 社実施した。</li> <li>窓口、巡回支援時において、ISCO の実施する IT ツール活用成果報告会を周知し、経営高度化の促進を図る。</li> <li>IT 助成金に関する相談が寄せられたので、事業者の方が参加しやすいよう全体セミナーと公庫の融資相談会を同時開催した。</li> </ul> <p>下記の 4 回情報配信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>稼ぐ力応援セミナー案内：チャット GPT を使った生産性向上と補助金活用について (5/19 LINE)</li> <li>人材開発支援助成金の案内 (4/10 LINE)</li> <li>県の労働生産性向上支援事業紹介 (6/29 LINE)</li> <li>生産性向上人材育成センター案内：DX 人材育成のための支援紹介 (1/31 HP)</li> </ul>
事業効果		<ul style="list-style-type: none"> <li>専門家と連携した取り組みにより、国や県の IT 導入に関する補助金の利用促進が図られた。</li> <li>各種会計ソフトの利用促進による経理業務の効率化や、e-tax 導入事業者が 76 者増え、事業者の申告業務の時間短縮が図られた。</li> <li>セミナー・個別相談会をワンストップで行ったことで、事業者の利便性を図ることができた。</li> </ul>

		担当課評価	評価理由・根拠	R6年度の対策・解決策
		<p style="text-align: center;"><b>A2</b></p> <p>A1：達成済み A2：現状維持 B：要改善 C1：抜本的な見直し C2：目標の見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産性向上がより求められる中で、全事業者が必要となる会計業務について、効率化に資する取組を行った。また、専門家連携により、IT化に必要な情報や事業に合ったシステムについて提案することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ISCO等の専門機関と連携した、事業者支援の実施により、事業者の生産性向上を支援する。</li> <li>セミナー・個別相談等ワンストップで実施する。</li> </ul>
令和 6 年度	事業計画		実施計画	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営高度化促進を図る。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ISCO等の専門機関と連携し、ITツール相談会の実施</li> <li>専門家と連携した、事業者にあったシステム導入等による業務効率化の推進</li> </ul>	
委員評価	<p style="text-align: center;"><b>A2</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セミナー等の情報配信を行っているが、効果が見えない。(アウトプット指標)</li> <li>全体セミナー・融資相談会をワンストップで行えたことは、事業者にとって非常に参加しやすい環境であったと思う。この点も盛り込んで欲しい。(審議会後、実績・効果に赤字で追記)</li> </ul>		

施 策		(1) 地域資源を活かした観光の振興と中小企業者等の経営力強化		
行動 計画	事業名称	オ 地域資源活用支援		
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●村産品・特産品等地域資源を活用した商品開発、生産、需要の開拓を行う。</li> <li>●名護市・読谷村・恩納村の1市2村で共同宣言を行い認定された「ふるさと名物（沖縄リゾートウエディング）応援宣言」をさらに発展させ、域内のリゾートウエディングの活性化を促す（ウエディングの引き出物やウェルカムドリンク、ウェルカムクッキー等の商品の拡充を行う。）</li> </ul>		
令和 5 年度	事業計画	事業実績	事業効果	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営革新認定事業 2 件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県商工会連合会が主催する第 26 回ありんくりん市にて、村内事業者 2 社が出展し、村特産品の PR を行った。村商工会女性部にて、地域資源を原材料としたレシピ開発及びレシピ集を発刊、村内観光施設へ配布した。</li> <li>・地域観光資源の万座毛をデザインした「村オリジナル買物手提げ袋」を制作、村内特産品の販売促進を図った。</li> <li>・第 2 回特産品（アテモヤスイーツ）コンテストを実施（リゾートホテル 9 社エントリー）うんな中学校 2 年生を審査員とし実施した。(2/21)</li> <li>・経営革新認定事業 0 件 (R4 年度度 1 件)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特産品等開発支援事業にて開発された製品のアンケートおよびレシピ集を観光施設にて配布し、県内外の観光客へ周知を行ったことで反響が多く寄せられた。</li> <li>・第 2 回特産品料理（アテモヤスイーツ）コンテストでは、うんな中学校 2 年生を審査員として実施し、コンテストを通して、食育・特産品であるアテモヤの周知・消費拡大に繋がった。また、各ホテルスタッフによるプロの技術・接客に触れることで職業としての関心を高めることも狙いであった。</li> <li>・恩納村商工会女性部が開発・実施したレシピ集発行事業は、沖縄県商工会連合会からも評価され、優秀な取り組みを実施している商工会女性部の功績を称えるとともに、ほかの女性部の意欲喚起をねらう全国商工会女性部連合会の「まちづくり顕彰」へ推薦された。</li> <li>・商品開発セミナーの実施や各種展示会への参加支援により、今後も新たな特産品の開発を図っていく。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ローカル認証制度への移行</li> </ul> <p>参考：R3 年度作業部会資料より抜粋 〔制度導入の目的〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「サンゴの村宣言」にもとづいた本村の地域特性を生かした恩納ブランドの確立及び村民への普及啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恩納村ローカル認証制度導入支援業務として委託し作業部会を開催。</li> </ul> <p>第 1 回 R5. 7. 25 第 2 回 R5. 10. 23 第 3 回 R6. 2. 5 認定委員会 R6. 3. 27</p>	<p>【作業部会の内容を記載】</p> <p>第 1 回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の振返り</li> <li>・商標登録に関すること（審査の流れ・出願等の費用・区分・特許庁に支払う出願費用等）</li> <li>・農産物の上位認証に関すること、村内ダイビングサービスの状況につ</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境の保全に配慮した生産・サービス活動や意識の定着</li> <li>・自然環境の保全に配慮した生産・サービス活動を行っている生産者・事業者の所得向上</li> </ul> <p>〔概要〕</p> <p>より多くの村内事業者が参加できるよう自然環境の保全、地球温暖化防止等につながる行動、活動を位置づけしたスタンダード認証とより積極的な環境に配慮した事業活動を基準とする上位認証の2段階で構成する。</p>	<p>【制度導入作業部会メンバー】</p> <p>農林水産課（農林水産業係長、農林係長）商工観光課（商工係長、観光係長）</p> <p>企画課（企画係長）</p> <p>恩納村商工会（事務局長）</p> <p>おんなの駅（店長）</p> <p>恩納村観光協会（事務局長）</p> <p>JA 恩納支店（経済課長）</p> <p>恩納村赤土等流出防止協議会（農業環境コーディネーター）</p> <p>恩納村漁業協同組合（参事）</p> <p>恩納村ダイビング協会（会長）</p>	<p>いて（村内のダイビングサービス【潜水業の届け出店舗 2023年7月時点】109件 申請書類・申請手続き・認証フロー、課題と対応の確認・検討）</p> <p>第2回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商標登録に関すること（審査の流れ・出願等の費用・区分・特許庁に支払う出願費用等）</li> <li>・ダイビングサービスの制度試行について（課題と対応の方向性 追加基準、取消条件、認証メリットについて検討）</li> </ul> <p>第3回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要綱案（（仮称）サンゴにやさしい認証制度要綱）について</li> <li>・ダイビングサービスの認証について（認証制度のメリットについて、今後の進め方）</li> <li>・認定産品・サービスへメリットについて（おんなの駅 ヒアリング概要：制度設計・運用で気になる点、ふるさと納税農産物の返礼状況等）</li> </ul> <p>認定委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物に関する取り組みについて</li> <li>・ダイビングサービスに関する取り組みについて</li> <li>・商標登録について</li> <li>・認定産品・サービスへのメリットについて</li> </ul>
担当課評価	評価理由・根拠		R6年度の対策・解決策
<p style="color: red; font-size: 1.2em; font-weight: bold;">A2</p> <p>A1：達成済み A2：現状維持 B：要改善 C1：抜本的な見直し C2：目標の見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特産品開発、出展支援により村内外へ特産品のPRをすることができ、事業者の商品力向上やモチベーション向上が図れている。レシピコンテストは食育等にも繋がった。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業者の一層の発展につながるよう支援していく。</li> </ul>

令和	事業計画		実施計画
6 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村産品・特産品等地域資源を活用した商品開発、生産、需要の開拓を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品開発セミナーの実施</li> <li>・各種展示会への参加支援により、新たな特産品の開発及び販路開拓支援を実施</li> </ul>	
委員評価	A2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度経営革新認定事業が0件の要因は、コロナ禍明けというのもあり経営革新に繋がっていないことが考えられる。</li> <li>・事業者が別の事業を行うことも経営革新と捉えられるので、このような事業者を積極的に取り上げた方が良い。</li> <li>・村で経営革新を認定出来たら良いのでは。認定されたら、ふるさと納税返礼品としてカタログに掲載する。広報等に定期的に掲載することでインセンティブが働くのではないか。</li> </ul>	

施 策	(1) 地域資源を活かした観光の振興と中小企業者等の経営力強化	
行動 計画	事業名称	カ 農商工連携による6次産業化の推進
	事業概要	●事業拡大を図るため、農業者・漁業者等に対し行政や商工団体と情報共有を図り、ホテル等に対し、地場産農水産物の利用、消費拡大など販売の支援
令和 5 年度	事業計画	<p>・観光連携型農業の構築を目的とした。調査実施（農林水産課）</p>
	事業実績	<p>委託事業：スマート農業と観光連携型農業推進による村内農産物の活性化に関する調査業務</p> <p>目的：観光連携型農業は本村の立地特性を生かした農業の1つの在り方といえる。AI技術等を活用し効率性を高めたスマート農業や6次産業化の推進は、農業生産性の向上や若者を中心とした新たな就農者の確保に繋がるため重要な取り組みである。観光連携型農業の可能性およびスマート農業整備の可能性について調査し、「稼げる農林水産業」を目指した農業活性化を促す事業の構築について検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県外観光客向けアンケート 実施済</li> <li>・県民向けアンケート 実施済</li> <li>・先進地事例視察調査 実施済</li> <li>・インバウンド向け調査 実施済</li> </ul>
	事業効果	<p>・県外観光客向けアンケート（345件）抜粋</p> <p>【沖縄旅行でやってみたい活動】</p> <p>観光地巡り：43.8%、沖縄料理を楽しむ：44.9%、海水浴・マリレジャー：36.5%、…農業体験：11.6% 12位/選択肢26中</p> <p>【沖縄旅行でやってみたい果物・野菜・水産物の収穫体験】5つまで選択</p> <p>マンゴー：202件（58.6%）、パッションフルーツ：172件（49.9%）、シークワサー：128件（37.1%）、海ぶどう：35件（34.2%）、パイナップル：117件（33.9%）、……イチゴ：13件（3.8%）イチゴは19位/選択肢24中</p> <p>【沖縄旅行の際に訪れる観光農園を選ぶ際に決め手になりそうなこと】</p> <p>5つまで選択</p> <p>収穫体験をしてみたい果物・野菜がある：213件（61.7%）、収穫した果物・野菜が美味しい：194件（56.2%）、宿泊施設から近い：185件（53.6%）、収穫した果物・野菜を持ち帰ることができる（送ることができる）：145件（42.0%）、入園料又は持ち帰り料が安い：136件（39.4%）</p> <p>・県民向けアンケート（494件）抜粋</p> <p>【恩納村に観光農園があれば利用したいか】</p> <p>収穫体験できる果物・野菜の種類による：184件（37%）、利用したい：111件（22%）、利用しないと思う：122件（25%）、収穫体験後の体験メニューによる：59件（12%）、収穫場所の環境による（写真映える施設）：18件（4%）</p> <p>【利用頻度】 数年に1回程度なら利用したい：214件（43%）、年1回程</p>

			度利用したい:175件(35%)、年2～3回程度利用したい:88件(18%)、 毎月利用したい:17件(4%)
	担当課評価	評価理由・根拠	R6年度の対策・解決策
	<b>C2</b> A1:達成済み A2:現状維持 B:要改善 C1:抜本的な見直し C2:目標の見直し	・※R4年度第2回審議委員会にて、R5年度農林水産課において観光連携型農業の構築を目的とした調査を予定していることを受け、R6年度以降に調査結果を踏まえた行動計画を策定するとした。	・令和5年度調査結果により策定する。
令和 6 年度	事業計画	実施計画	
	・令和5年度調査結果により策定する。 ・令和6年度以降、調査結果を踏まえ策定する。	・令和5年度調査結果により策定する。 ・調査を継続する。	
委員評価	<b>C2</b>	・近年の温暖化の問題もあり、農作物に適した気候等もある。沖縄県の気候変動について専門家も交えて意見聞いたほうが良いのでは。予期せぬリスクにも備えないといけない。	

施 策		(1) 地域資源を活かした観光の振興と中小企業者等の経営力強化	
行動 計画	事業名称	キ 新商品開発事業	
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●村内の地域資源を活かした付加価値の高い新商品開発を促進する。</li> <li>●村産品を活かした特産品の開発を推進する。</li> </ul>	
令和 5 年度	事業計画	事業実績	事業効果
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品化 5品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村特産品開発支援事業において、村内事業者 5 社による新商品開発及び販路開拓支援を実施した。 (地場産品を使用したパスタセット、恩納ナビーをモチーフにしたちんすこう、リュウキュウガネブのチョコスプレッドの開発。既存商品のパッケージ開発による商品付加価値額の向上。店頭首掛けのPOP作成・商品情報の補完と店頭での販売促進。)</li> </ul>	<p>昨年に引き続き村内事業者へのマーケティング専門家による個社支援を実施し、商品の高付加価値化を図った。 また、消費者へのアンケート調査を実施したことで、調査内容を基に商品のフレーバー、容器の材質、菓子の形状、パッケージデザイン、価格など、ブラッシュアップにつながった。</p>
	担当課評価	評価理由・根拠	R6年度の対策・解決策
	<p><b>A1</b></p> <p>A1: 達成済み A2: 現状維持 B : 要改善 C1: 抜本的な見直し C2: 目標の見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品開発支援においては、パッケージデザインの制作支援をブランド戦略の観点から実施できた。</li> <li>・過去に本事業において商品化した商品についても、更なる高付加価値化を目的に、パッケージ開発の取組を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村内の地域資源を活かした付加価値の高い新商品開発を促進し、村内外での販売促進を支援する。</li> </ul>
令和 6 年度	事業計画	実施計画	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品化 5品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恩納村地域特産品開発支援事業の実施による商品開発支援や、恩納村周辺活性化施設等での販売促進を図る。</li> <li>・村外での新たな販路拡大を支援する。</li> </ul>	
委員 評価	<p><b>A1</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5品の売上（既存商品については対比）について売上額を把握して欲しい。</li> <li>・数年前、恩納村には特産品・お土産がないと言われていたが、ここまで発展していることに驚いた。</li> </ul>	

施 策	(2) 連携による人材育成・雇用促進			
行動 計画	事業名称	ア 地域の担い手育成		
	事業概要	●村内の経営者を対象にした先進地視察研修や、最新ビジネスの事例紹介セミナー、講習会等を開催し、地域産業の担い手の育成に努める。		
令和 5 年度	事業計画	事業実績	事業効果	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナー開催 1 回</li> <li>・青年部九州大会、全国大会への派遣</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心理学セミナーを実施し、青年部員の組織マネジメント力強化を図る。</li> <li>・(株) ONNA と青年部合同で、おんなの駅イベントを実施し、地域振興に資する取組を行う。</li> <li>・商工会青年部全国大会へ 3 事業者、九州大会へ 1 事業者が参加し、後継人材の育成支援を行った。</li> <li>・青年部でハニーコーラルプロジェクト事業を引き続き実施し、はちみつに関するニーズ調査を行った。</li> </ul> <p>以下 8 回の情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県産品で稼ぐセミナー案内 (11/5 LINE)</li> <li>・中小企業の稼ぐカシンポジウム案内 (12/2LINE)</li> <li>・人材チャンプルー紹介 (4/28) : 課題抽出、必要な人材を紹介する支援拠点</li> <li>・稼ぐ力応援セミナー (社員の採用、定着による経営力強化) (8/21 LINE)</li> <li>・人材採用の仕方、定着について、補助金、助成金の活用について、生産性の向上について (1/31)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナーの自主開催や、商工会青年部全国大会及び、九州大会等の研修会への参加により、事業者間のネットワーク構築や後継者としても資質向上が図られた。</li> <li>・ハニーコーラルプロジェクト事業の継続活動により、地域の課題と解決への理解促進が図られた。</li> <li>・<b>地域産業の担い手である青年部が中心となって</b>おんなの駅との共同開催により、「わくわくマルシェ」を実施、収益の一部を、能登半島沖地震の災害復興へ寄付する等、地域活性化へのイベントに寄与することができた。</li> </ul>	

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場づくり支援プログラム案内 (8/28、10/20)</li> <li>・価格転嫁・所得向上シンポジウム案内 (2/22LINE)</li> </ul>	
	担当課評価	評価理由・根拠	R6年度の対策・解決策
	<p><b>A1</b></p> <p>A1：達成済み A2：現状維持 B：要改善 C1：抜本的な見直し C2：目標の見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組により事業者間のネットワーク構築や、資質向上が図れた。</li> <li>・新たな地域活性化イベントへ協力し、今後に繋がる取組が行われた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成に資する各種研修やセミナーへの積極的参加を促進する。</li> <li>・地域活性化イベントに協力し、活性化事業の継続を支援する。</li> </ul>
令和	事業計画		実施計画
6年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナー開催1回</li> <li>・青年部九州大会、全国大会への派遣</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青年部全国大会・九州大会への参加</li> <li>・経営に資するセミナーの実施</li> <li>・サンシャインめんそーれフェスタへの協力</li> </ul>	
委員評価	<p><b>C2</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「わくわくマルシェ」の事業が地域の担い手育成にどう繋がるのかを記載する必要があるのでは。(審議会後、事業効果に赤字で追記)</li> <li>・達成済みではあるが、先進地視察後の村との繋がりがいまいち見えない。交流だけではなく、関係人口への構築が必要。交流後のその後の発展に繋げるという意味で目標の見直し。</li> </ul>	

施 策		(2) 連携による人材育成・雇用促進		
行動 計画	事業名称	イ 雇用促進		
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●企業と連携し、合同企業説明会の場を設ける。</li> <li>●商工会で行っている求人情報「ナビワーク」を村ホームページへ掲載するなど村内の求人情報を提供する。</li> <li>●ハローワークと連携を図り、役場内玄関前に求職ブースを設置し、情報の提供を行う。</li> </ul>		
令和 5 年度	事業計画	事業実績	事業効果	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合同説明会 1 回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11/1 合同就職説明会開催 参加企業 7 社 求職者 6 人</li> <li>以下 15 回の情報発信</li> <li>・ ハローワークインターネットサービス案内 (4/1LINE)</li> <li>・ 正規雇用化に関する事業や助成金の案内 (4/23、5/19、5/26、6/24)</li> <li>・ 求職者向け支援事業、相談窓口の案内 (4/21、5/26、5/29、6/24、8/19、9/4)</li> <li>・ 外国人材受入無料相談会案内 (5/19、8/25)</li> <li>・ 雇用関係助成金 (R6 年度の申請準備に向けた) セミナーの案内 (3/2LINE)</li> <li>・ 事業主向け雇用に関する相談窓口 (グッジョブ相談ステーション) の周知 (2/28HP)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加企業・求職者共に少数だった (参加企業: 7 社 求職者: 6 人)</li> <li>・ コロナ禍後、宿泊業・飲食業から離職が多く、求職者は観光関連の業種を敬遠する傾向があり、求職者とのマッチングが出来ていない状況。</li> </ul>	

		担当課評価	評価理由・根拠	R6年度の対策・解決策
		<p><b>C1</b></p> <p>A1：達成済み A2：現状維持 B：要改善 C1：抜本的な見直し C2：目標の見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合同説明会は予定通り開催できたが、参加企業・求職者が少ないことから、雇用促進に繋がっていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来の説明会から手法を検討する。</li> </ul>
令和 6 年度		<p>事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合同説明会開催ではなく、HP・LINE等を活用した求人案内を行う。</li> </ul>		<p>実施計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、村広報に商工会の「恩納ナビワーク」の情報を掲載し（QRコードで読み取り）求人情報が手軽に閲覧できるようにする。</li> </ul>
<p>委員評価</p>		<p><b>C1</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合同説明会は廃止とし、SNSを活用して恩納村の自然の魅力等の情報発信（プロモーションビデオ等）を行う必要があるのでは。（沖縄県が策定した「おきなわブランド」と関連付けて恩納村の魅力をPR。恩納村で働きたいと思うような。）専門家も交えてターゲット層の調査も出来たら良い。</li> <li>・ワークライフバランスを推進した働き方について、関係団体と意見交換会を設けてみても良いのでは。</li> </ul>	

施 策		(2) 連携による人材育成・雇用促進		
行動 計画	事業名称	ウ 受注機会の確保		
	事業概要	●村が実施する事業に関し、村内中小企業者等の受注機会の増大を図る。		
令和 5 年度	事業計画		事業実績	事業効果
	・村実施事業において、村内事業者の受注割合の増大を図る。		・業務委託契約 7/46 件 (15.22%) ・工事 23/26 件 (88.46%) ※建設課提供 R5 年度村内業者の受注件数報告数値	・工事に関しては村内業者が 9 割弱を占めており、受注割合は高いといえる。業務委託契約に関しては、村内業者の取扱いのない業務が多数を占めるための結果といえる。
	担当課評価	評価理由・根拠		R6 年度の対策・解決策
	<b>A2</b> <small>A1: 達成済み A2: 現状維持 B: 要改善 C1: 抜本的な見直し C2: 目標の見直し</small>	・令和 2 年度まで集計基準を作成していないことを受け、建設課で受注件数把握及び情報提供について調整し、令和 3 年度より数値で把握している。		・工事に関しては村内業者が 9 割弱を占めており、受注割合は高いといえる。業務委託契約に関しては、村内業者の取扱いのない業務が多数を占めるための結果といえる。
令和 6 年度	事業計画		実施計画	
	・村実施事業において、村内事業者の受注割合の増大を図る。		・各課への呼びかけに必要な村内事業所の情報収集、整理。	
委員評価	<b>A2</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数値で示されていると理解しやすい。9 割弱を村内受注というのは優秀である。</li> <li>・別の事業も数値で示されると、村民の方々への理解が深まるのでは。</li> </ul>			

施 策		(2) 連携による人材育成・雇用促進	
行動 計画	事業名称	エ 村民の理解と協力	
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●村民は中小企業等振興への理解と協力を図る。</li> <li>●村産品を積極的に利用する。</li> </ul>	
令和 5 年度	事業計画	事業実績	事業効果
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村産品積極的な利用に関する広報、村民の理解度を測るためのアンケート実施</li> </ul>	<p>7月:懸垂幕にて村産品優先使用の意識高揚を図った(県産品奨励月間と併せて実施)。月間と併せて実施。</p> <p>9月:広報誌にて村内3団体から地元産品奨励及び地元企業優先使用の要請について掲載、全庁的な取り組みを推進することを村民へ周知。庁舎内掲示板にて各課へ事業、イベントにおいて使用する物品、消耗品等についても村内事業所での調達依頼実施。出先機関への周知についても協力依頼。</p>	<p>R6.1月アンケート結果(記入・WEB回答 96件)4,003人(2日間来場者数)(第26回恩納村産業まつり会場 回答対象:恩納村民)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●村では、村内の事業所(中小企業等)の振興を図ることで地域経済の活性化及び雇用の創出を目的に関係者が協働して様々な支援に取り組んでいます。このような取り組みについて知っていますか。 知っている40%、聞いたことがある40%、知らない20%</li> <li>●このような支援(村の取組)についてどう思いますか。 積極的に取り組んで欲しい85% どちらかといえば取り組んで欲しい10% 無回答5%</li> </ul>
	担当課評価	評価理由・根拠	R6年度の対策・解決策
	<p><b>A2</b></p> <p>A1:達成済み A2:現状維持 B:要改善 C1:抜本的な見直し C2:目標の見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優先使用に関する村民への周知(広報・HP等)を実施。アンケートが産業まつり会場で行われたこともあり、産業へ関心のある方が回答しているため「知っている・聞いたことがある」が8割を占めていると思慮される。アンケートの手法を検討する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的に広報等で村産品等のPRを行う。</li> <li>・中小企業等振興への村民理解度を測るためアンケートを実施。</li> </ul>
令和 6 年度	事業計画	実施計画	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●村産品積極的な利用に関する広報、村民の理解度を測るためのアンケート実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県産品奨励月間に合わせ、県産品並びに村産品の優先使用を懸垂幕、広報、村ホームページに掲載し、周知する。</li> <li>・地域特産品等開発支援事業で商品開発した商品を広報・HPで紹介する。</li> </ul>	

A2

- ・ 事業者売上増など直接的ではないが、代理変数を使うことで認知度を測る事も可能。
- ・ 村製品の良さを知ってもらう・多く愛用してもらうために、各地区で試食会を行う手もある。
- ・ 広報等にアンケートを掲載し、回答者にはプレゼントする方法は回答が多く得られる。

施 策		(3) 創業支援事業		
行動 計画	事業名称	ア 創業者支援		
	事業概要	●創業支援事業者補助金を活用した創業相談員（中小企業診断士・税理士等）を配置し相談等の支援を行う。		
令和 5 年度	事業計画		事業実績	事業効果
	<ul style="list-style-type: none"> <li>起業件数 5 件</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>起業件数 6 件</li> <li>中小企業診断士等の相談員を窓口 に設置し、創業計画、融資、補助金申 請のサポートを行った。</li> <li>廃業した事業を若手が引継ぎ、創業 から税務申告記帳までサポートを行 った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>創業関連相談 12 件の内、6 件が起業に至り、新規創業を促進した。専門 家も交えた創業融資や創業関連補助金の支援により、起業時の資金調達円 滑化を支援した。</li> </ul>
	担当課評価	評価理由・根拠		R6 年度の対策・解決策
	<b>A1</b>  A1：達成済み A2：現状維持 B：要改善 C1：抜本的な見直し C2：目標の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ過を経て創業相談が増える中で、実際の創業までの支 援が実行できた。</li> <li>創業時に多い、資金調達面の課題に対し、調達方法の情報提 供や実際の調達までの支援を行った。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業診断士や税理士等の専門家と連携し、新規創業を促 進する。</li> <li>事業計画や融資・補助金申請の支援を行う。</li> </ul>
令和 6 年度	事業計画		実施計画	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>起業件数 5 件</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>専門家による創業相談窓口の設置</li> <li>創業時に活用できる融資や補助金の相談会の実施</li> </ul>	
委員評価	<b>C2</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタートアップ企業を生み育てていくことが村にとっても重要。村全体として考えていく必要がある。</li> <li>OIST のとの連携も強化する必要がある【事業者と連携する施設（リエジナー）あり】</li> </ul>		

施 策		(3) 創業支援事業		
行動 計画	事業名称	イ 特定創業支援事業		
	事業概要	●特定創業支援認定事業者数 セミナーや個別相談受講等のすべての要件を満たした事業所		
令和 5 年度	事業計画		事業実績	事業効果
	・認定特定創業支援事業認定事業者数 2 件		・認定 4 件 ・製造業やマリン業の事業者に、融資制度や補助金申請に際し認定を受け、活用された。	・商工会において一定期間及び回数、支援事業者による認定特定創業支援を受けた創業者が、登録免許税の減免、創業関連保証等を受けられた。
	担当課評価	評価理由・根拠		R6 年度の対策・解決策
	<b>A2</b> A1：達成済み A2：現状維持 B：要改善 C1：抜本的な見直し C2：目標の見直し	・村の認定を受けることにより、事業者の経済的負担が多少減少できたため、今後も事業者の経済的負担軽減のため、事業を継続していく。		・継続して商工会の認定特定創業支援を受けた創業者が減免等を受けられるよう支援する。
令和 6 年度	事業計画		実施計画	
・認定特定創業支援事業認定事業者数 2 件		・継続して認定特定創業支援事業を通して創業者の経済的負担が減少するよう支援する。		
委員評価	<b>A2</b>	・商工会と連携して引き続き事業を実施してください。		

施策	(3) 創業支援事業		
行動計画	事業名称	ウ 創業融資の利用促進	
	事業概要	●商工会・村・金融機関は、基本方針に基づき、中小企業者等が経営基盤の強化、経営の改善と経営力向上に取り組むことができるよう、融資を円滑に行う。	
令和5年度	事業計画	事業実績	事業効果
	・連絡会開催1回	・連絡会議 0回 ・沖縄銀行恩納支店長及び担当者と都度情報共有の上対応した。 ・各種融資制度の見直しについて周知する (R6.4.1以降自己資金要件なく、無担保・無保証人融資制度が利用できる)	・連絡会議は無かったが、融資案件の斡旋の都度、銀行支店長及び担当者を交えて情報共有及び調整を行った事で、事業者の経営状況に即した対応を行った。
	・創業融資に関する連携した件数	・創業融資に関する連携件数1件	
	担当課評価	評価理由・根拠	R6年度の対策・解決策
	<b>A2</b> <small>A1: 達成済み A2: 現状維持 B: 要改善 C1: 抜本的な見直し C2: 目標の見直し</small>	・銀行と商工会間で、案件毎に密な情報連携が図られている。	・創業融資の利用促進に向けて情報共有を行う。
令和6年度	事業計画	実施計画	
	・連絡会開催1回	・融資や事業者支援に資する情報交換会を開催する。	
委員評価	<b>A2</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・案件ごとに密に連携ができていますので、取り組みを継続してください。</li> </ul>		